

「頭痛，嘔気，項部硬直」 そうになったら髄膜炎は確定？ …実は微妙…



症例

50代・女性.

- ・既往歴：脂質異常症，高血圧
- ・現病歴：これまで頭痛を感じることはあったが，今回はこれまでとは比べものにならないくらい痛みが強い，ということで外来を受診してきた。

1 症状，所見



：先生，頭が痛くて我慢できないので来ました。



：わかりました。詳しく話を聞かせてください。頭痛を感じたのはいつからですか？



：2日前からちょっと頭痛があるな，とは感じていたんですが，市販の鎮痛薬があったので，それを飲んで様子を見ると治まっていた。



：その後，どうになりましたか？



：今日，午前中にさらに強い痛みが襲ってきて，鎮痛薬を飲んでも全然効きませんでした。



：体温も 37.2°C で，熱もありますね。



：それは気付きませんでした。



：吐き気はありますか？



：吐き気もあります。今日，一度吐きました。先生，頭を調べてくれませんか？

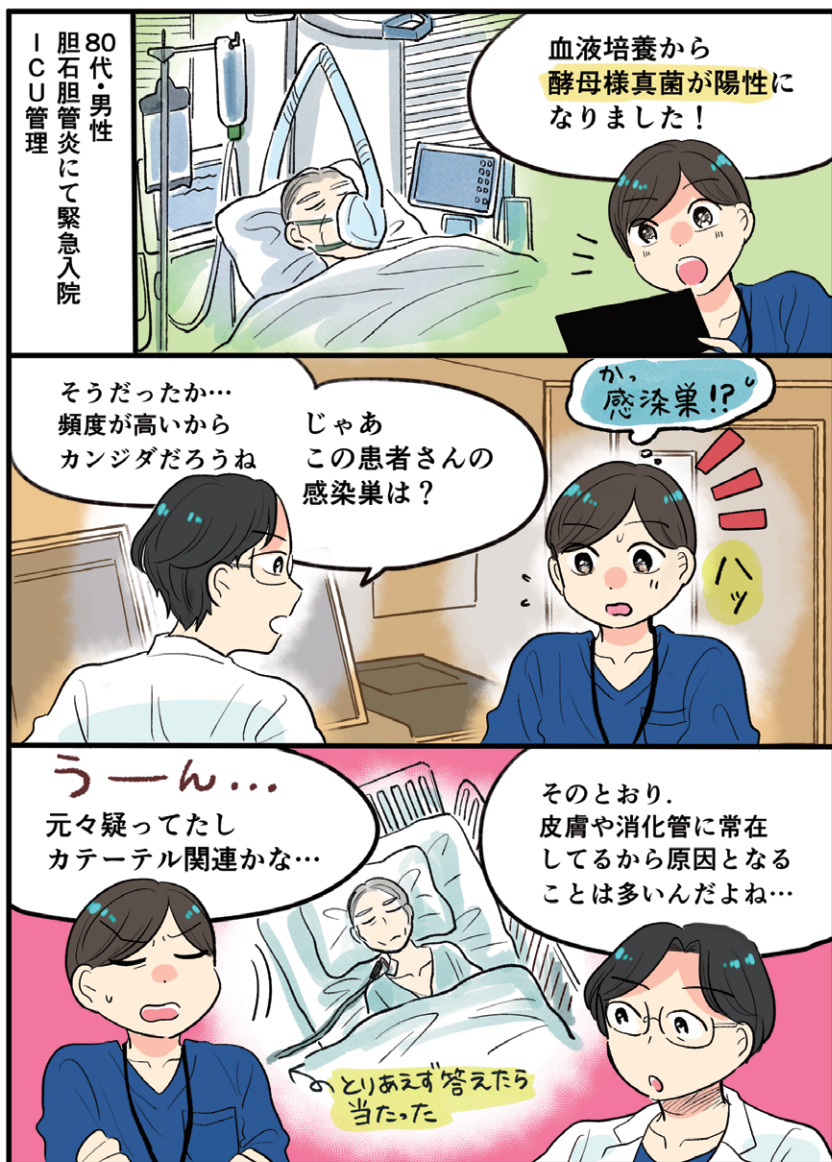
る、やはり診断を下す最初の時点では、さまざまな疾患の可能性を広く考慮したうえで、さらに症状、臨床経過、診察所見や各種データに基づいて適切に鑑別診断を行っていく必要がある。



まとめ

- ◆ 感染症が疑われるような症状があったとしても、必ずしも感染症とは断定はできない
- ◆ 発熱があれば感染症の存在を疑うべきだが、他の疾患等でも発熱はあり得るし、特に微熱の場合は感染症以外の可能性も十分に考慮しておく必要がある
- ◆ 発熱、頭痛、項部硬直などがあれば、典型的な髄膜炎と考えてしまいがちである。ただし、くも膜下出血のように類似の症状を認める疾患もあり得る
- ◆ 最初から診断名を決めつけず、得られる情報を検討し、さまざまな可能性を考慮したうえで、診断を確定させていくことが大切である

酵母様真菌が血液培養から 生えた，どうする？



症例

80代・男性。胆石胆管炎で緊急入院され、ICU管理となった。入院後CVカテーテルが挿入され、ノルアドレナリンが投与開始された。胆道ドレナージと抗菌薬加療によって全身状態が改善したため一般病棟へ転棟した。経口摂取が進まないため、高カロリー輸液をCVカテーテルから投与していた。入院8日目に熱発したため、CVカテーテル感染を疑って、血液培養2セット採取、CVカテーテルを抜去し、バンコマイシンの投与を開始した。入院10日目に血液培養で酵母様真菌が陽性になったと主治医に報告された。

1 病態把握



：血液培養から酵母様真菌が陽性になりましたと検査室から電話がありました。



：酵母様真菌だったか。この真菌は何だと思う？



：カンジダしか知りません。



：血液培養から検出される酵母様真菌として遭遇する頻度が高いのはカンジダ属です。この患者さんは、2セット採取して1本しか陽性になっていないけど、カンジダ血症(図1)は基本的にコンタミネーションとは考えずに治療対象とします¹⁾。では先生、この患者さんの感染巣は何でしょうか？

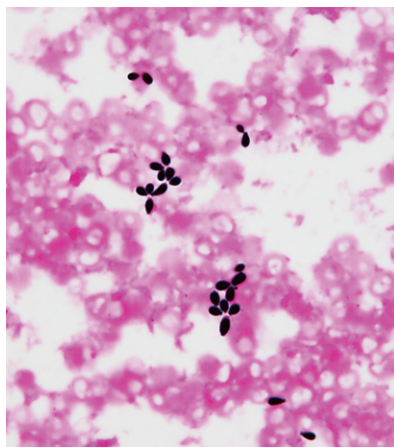


図1 カンジダ血症
グラム染色像(×1,000)

ICU：intensive care unit, 集中治療室
CVカテーテル：central venous catheter, 中心静脈カテーテル